

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成27年4月3日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4691000055
法人名	有限会社 童里夢
事業所名	グループホーム どりーむ大山
所在地	鹿児島県指宿市山川大山2951番地 (電話) 0993-35-0280
自己評価作成日	平成27年3月7日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成27年3月21日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

開所から満4年を迎えようとして、利用者の方々の入れ替わりもありますが、職員と和気あいあい楽しく生活しています。施設は、大山の集落の中にあり、集落に入れて頂いている。そして大山に現住所のある利用者が3名おられるので、地区の行事に呼ばれる事もあり、職員同伴で参加したりしている。近所の方々やご家族から季節の食材などをいただく事も多く、それらで季節感のある食事を頂いています。皆で、保存食(すももジャム・梅干し・高菜漬けなど)作り、自家菜園では季節の野菜作り、花壇には花を植えるなど、昔取った杵柄を發揮していただいています。利用者のご家族とは、『生活状況のお知らせ』を毎月お渡しして、面会時など職員から積極的に会話するなど、信頼関係を築くよう努めております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当ホームは利用者の意思及び人格を尊重しながら、家庭的な雰囲気の中で地域や家庭との結びつきを大切にしている。
- ・自治会に加入し地域で行われる行事に参加している。地域住民との協力体制が確立されている。近所の人とは散歩などで馴染みになり挨拶したり、野菜の差入れなどもある。
- ・馴染みの美容室に職員と出かけたり、家族と自宅に帰り親戚などがあつまり外泊を楽しむ利用者もいる。友人宅に行くこともある。馴染みの関係継続の支援をしている。
- ・自宅での生活歴や日常の生活で思いをくみ取り、毎日の生活の記録をもとに課題を抽出しその人らしい生活ができるように介護支援を行っている。
- ・職員は和やかな雰囲気づくりに努め、家族との月1回のお茶会の開催やバザー・六月灯など、利用者中心のケアに徹している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	朝のミーティングの時に理念を確認し合い、共有と実践に努めている。	地域密着型サービスの意義を踏まえた理念を全職員で考え作成している。理念はホールに掲げて、朝の申し送りで唱和したり職員会議などで確認し、日々のケアに活かしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	事業所は自治会に加入して地域の一員となっており、様々な行事ごとだけでなく、利用者と一緒に買い物や散歩などの際にも、挨拶や会話を交わして日常的に交流している。	自治会に加入し地域行事の六月灯やふるさと市・地区の会合等に参加している。自主防災の一員でもある。近隣の人々の訪問や地域の踊りボランティアの来所等がある。近所の店で買い物や散歩などで挨拶したりして、地域との交流を行っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	近所の方や地域の方々からの談話相談や直接の相談に対して、親身な対応を心掛け、協力に努めている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月毎に開催し、状況報告を行っている。参加者から、地域の情報や活動についてのご提言を頂き、地域との交流や利用者への支援に生かしている。	会議は定期的に行われている。事業所の行事報告や活動報告・ホーム便り・外部評価結果報告等をしている。参加者から意見や提案がでて、サービス向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	ご家族や地域の方々からの相談事や、事業所の取り組み・支援の方法など、細かな事までアドバイスを頂いている。	介護保険の更新や利用者の相談などで直接出向いたり電話で相談して助言を貰っている。市からの研修案内に積極的に参加する等、協力関係ができています。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体の動きを抑制するような拘束の実施は無い。利用者や意志の疎通を図りながら、身体の介護を行っている。玄関の施錠は、夜間の防犯目的のみである。	身体拘束廃止委員会や勉強会時に事例研修を行い確認し合っている。居室や玄関共に日中時間帯の施錠は無く、利用者は拘束の無い自由な暮らしをしている。外に出て行く利用者にはさりげなく寄り添って一緒に散歩に出かけ支援している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	打撲や打ち身などは、発見者が記録に残し、皆で原因究明や再発防止の検討をしている。BPSD等については、職員間で対応を協議し、介護の統一を図っている。管理者は、職員に積極的に研修会への参加を促している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	市の担当者や関係機関と連携を取り、相談したりアドバイスを頂いたりしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入所時に、重要事項説明書を基に、契約の締結や解除についての説明を行い、理解を得ている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>ご家族の面会時には、管理者及び当日勤務の職員が、報告だけでなく要望やご意見も伺うよう努めている。利用者の要望や意見も、日常の会話の中で聞いている。</p>	<p>日常生活の中で利用者の発する言葉やしぐさ・思いをくみ取り記録している。家族には面会時や電話などで聞き取り、必要なことは職員ミーティングで話し合いをして運営に反映させている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>朝の申し送りの時間や昼休みのティータイム時に、職員・管理者が気軽に問題提起し合い、話し合って運営に反映している。毎月開催の職員会議でも、丁寧な意見交換を行っている。</p>	<p>管理者は職員と個人的に相談しやすい雰囲気を作り、相談に乗っている。職員関係もスムーズで仕事がしやすい職場環境になっている。昼休み時や食事会でコミュニケーションを大切にしている。意見は運営に反映させている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>緊急時や希望勤務の調整を行い、生活とのバランスに気を配っている。資格取得に関する支援を行ったり、個々の努力や意欲が報われるように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員のケアの力量や研修の内容に合わせて、代表者が管理者と話し合い、外部研修を受ける機会を確保している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>県はもとより、薩摩半島地区や指宿地区のGH協議会に入会・交流し、学びや気付きを得ながら向上に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	職員は、利用者の生活歴・既往歴など把握した上で、本人の話を傾聴し、笑顔で穏やかに対応することで、安心して頂けるよう努めている。		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	入所申込の時から、ご家族の相談に親身になって対応し、入所時には更に詳しく要望に耳を傾けることで、信頼関係作りに努めている。		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	面接して本人やご家族にお話を伺い、アセスメントやサマリー・主治医意見書などの情報から、必要な支援を提供・提言している。		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	一緒に物作りをしたり、会話をすることで理解し合えるように努め、一日の生活を共有している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族は、利用者にとって一番身近で大切な存在である。利用者をより深く理解していく為にも、職員は生活状況の報告を毎月書いたり、積極的に会話したり、信頼関係を築けるよう努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	普通っていた美容院に行ったり、馴染みの方に面会の声掛けをしたりして、関係の継続を支援している。	個々の生活歴をケアプランに記録して、馴染みの友人宅や美容室に職員と出かけ馴染みの関係継続の支援をしている。家族と自宅に帰り親戚などが集まり外泊を楽しむ利用者や家族と墓参りをしている。友人・知人・身内の面会の頻度を促して関係継続の支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	共通の話題やレクリエーションをすることで、利用者同士の会話もできている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	亡くなられた利用者の初盆に参ったり、入院退所された方のお見舞いに伺い、家族とも話をさせていただき、相談なども伺っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	心掛けて会話をする時間を作り、本人の要望や不安・不満などを把握するよう努めている。困難な要望にも丁寧に対応している。	日々のケアの中で表情や言動などから聞き取りに努め、思いや意向の把握に心がけている。リラックスしている時や利用者の様子・言葉を聞いて記録しミーティングで話し合っている。意思疎通が困難な利用者は家族から聞いたり職員で話し合い本人中心の支援を行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人との会話やご家族とお話の中から、細かな情報も収集していくよう努めている。大事な情報は記録し、職員間で共有している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日常の支援の中で必要に応じて検討・協議し、変化や状態の把握に努めている。朝夕の申し送り時やミーティングなどで、情報の共有を図っている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々の介護の中で得た情報やアイデア、ご家族との会話からの情報・要望など、職員間で共有し検討して、計画を作成している。	自宅での生活歴や毎日の生活の記録をもとにその人らしい介護計画作りをしている。モニタリングも3ヶ月毎に行い、見直しが必要であれば急ぎよ変更もしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録と介護日誌は、すぐ手に取れる場所に置き、いつでも情報の共有が出来る。共有した情報を、ケアの計画・実践・見直しに役立てている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	自宅や友人宅訪問・墓参り時などの送迎や付添い、空き家となって荒廃した自宅の環境整備など、個別支援に努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域行事（六月灯・歳の市など）へ、職員と一緒に参加され、安心安全に豊かな暮らしを楽しんで頂けるよう努めている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人・家族の希望に沿ったかかりつけ医となっている。受診や往診時には職員が付き添い、普段の様子や変化などを伝えている。	本人や家族の希望するかかりつけ医を継続し往診の継続も支援している。受診は職員が付き添い医師に経過を報告したり、家族に受診結果を報告している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとれた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>利用者の変化にいち早く気づき、看護師・職員・管理者が連携を取り合って対応している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>利用者の入院時には、情報の提供を口頭や文章にて行い、退院時は医師の指示や看護要約を頂くことで、連携を図っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入所時に、重度化時の意向をご家族に伺う。ターミナルケアについては、必要時に相談を行っている。</p>	<p>入居の際、利用者や家族等に「看取りに関する意向確認書」で説明している。看取りの実施段階となった場合、医師や看護師など必要な専門職と連携を取っている。家族からの希望があれば対応できる体制である。職員は勉強会などで知識を深めている。看取りについて事例がある。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>定期的ではないが、緊急連絡網の確認や、救急対応の訓練を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>定期的に避難訓練を行い、緊急時にスムーズに動けるように訓練している。地区の自主防災協力隊の方々との訓練も、年1回行っている。</p>	<p>年2回の消防訓練の内1回は消防署に来てもらい指導を受けている。災害訓練や避難訓練を昼夜間想定で住民参加の協力を得て行っている。自主防災組織、地域住民の協力体制も築いている。通報設備、火災報知機、連絡網、備蓄も完備されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者一人ひとり、その方に合った言葉づかい、尊重した言葉づかいに努めている。また、居室・浴室・トイレなどドアを閉めて、プライバシーの確保にも努めている。	職員の意識向上を図るため尊厳に対するケアの在り方を勉強会や日々の支援の中で課題にしている。人格を尊重して、各部屋の配慮やトイレ等のドアを閉めるようにしている。スピーチロックや馴れ合いことばにならないように注意し、名前で話しかけるようにしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ケアマネや担当職員を中心に、本人の思いや希望を引き出せるよう、意識して会話している。それから、範囲はあるが出来るだけ本人の自己決定を尊重している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	何時でも自由に、家庭で過ごしているような雰囲気、と思っ て支援している。入浴や外出の希望にも、出来るだけ対応できるように努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	化粧品の販売をされていたり、毛染めやパーマをしたかったり、その人の生活歴や想いを大切にして、清潔な身だしなみを支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節の食材を活用し、下ごしらえ・片づけなどを手伝っていたりしている。食事は職員も一緒に、会話しながら楽しく召し上がって頂いている。	利用者の身体状況に合わせた食事形態で、本人の生活リズムに配慮した食事時間、嗜好に沿った献立を提供している。利用者の力量に応じて皮むき等をして調理の下ごしらえをしている。ラッキョウ漬け・金柑漬け・梅干しを作ったり、ケーキ作りなどを楽しんだり、ホームの外でバーベキューやソーメン流し・外食・お弁当を持って花見にも出かけている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	メニューを基に一人ひとりの摂取量・必要量を考慮し、不足分は、補助食品など取り入れている。水分も、様々な飲み物を提供し、必要量を確保出来るよう工夫している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に歯磨き・うがいを行っていただき、出来ない方は職員が支援している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄のパターンを把握して、本人から訴えない時は、職員が声をかけてトイレに行っていたりくなどの支援を行っている。	排泄チェック表で排泄パターンを個別に把握して、習慣を活かしたり声かけ誘導をしてトイレ誘導を行い、自立に向けた支援に取り組んでいる。昼間は積極的にトイレ誘導をしてオムツを減らす工夫をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>排便確認と下剤の調整状況の情報共有を行い、便秘の原因や改善方法の検討に努めている。間食に芋類を取り入れ、水分量確保の工夫にも努めている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している</p>	<p>声かけやタイミングを工夫したり、入浴拒否が続くときは、足浴や陰部洗浄の支援に変えるなどして、不快感が生じないように、又、気分転換が出来るように努めている。</p>	<p>本人の希望や身体状況に合わせた入浴支援を行い、入りたい時はいつでも入れるようにしている。入浴剤や菖蒲湯・バラの花びらなど季節感を味わえる入浴や清拭など利用者の清潔保持に努めている。マンツーマンの対応をしてゆっくりくつろぎながら楽しい時間が過ごせるように支援している。夏はシャワー浴や足浴・清拭などもしている。</p>	
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>自室での休息はいつでも対応しフロアーのソファや畳でも自由にくつろいでいただける。夜間の不眠時には、声掛けや付き添う事で安心できるよう支援している。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>内服説明書を一冊にまとめ、看護資格を持った職員を中心に管理し、確実な服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯物たたみや掃除の手伝い、花壇や菜園作りへの参加等で、役割や張り合いのある日々を、個々の誕生会や忘年会・ドライブ・散歩などで、楽しみや気分転換の支援に努めている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	散歩が困難な方も庭の散策や外気浴の支援を行っている。ドライブを兼ねて、自施設（他事業所）に体重測定やイベントの見学に出掛けている。	日常的には近隣や近くの公園までの散歩をしたり、ホームの庭での散策・外気浴等を行っている。個別に外出の機会づくりを工夫している。その日の希望を聞いて地域の行事に参加したり、マラソンの応援・ドライブ・花見・墓参りに行っている。できるだけ希望に添ったの外出支援をしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	『預かり金管理規定』及び『保管依頼（契約）書』を作成し、管理している。現在1名の方が買い物等の希望があるので、同行し支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	一方通行ではあるが、県外におられる家族に、手紙を出すことが出来た。ご本人も、書くことができ喜ばれた。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の飾り付けや行事写真などの設営を行い、浴室・トイレなどは解るよう貼り紙をしている。共用の空間は温・湿度計を設置し気を付けて、空気の入替えを行っている。個々の利用者の状態により、大声を出されたりする事もあるが、他の方々が不快にならないよう、工夫を心掛けている。	共用空間は天井が高く採光がふんだんに入り明るい。障子からのやわらかい光や換気・温度・湿度に配慮が行き届き清潔である。和室があり、随所にソファが置かれ、季節行事の写真や花・装飾があり、テレビの音量なども調整され、居心地の良く過ごされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアテーブルの形や座る場所も、心地よく過ごせるよう工夫・検討している。一人になれるよう、ソファやベンチを置いて配慮している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	位牌を置いたり、テーブルや洋服かけを置いたりとか、ベッドや家具類についても、希望に合わせて配慮している。	居室はベッドやタンス・エアコンが備え付けられている。本人や家族と相談しながら、馴染みの寝具やテーブル・位牌・家族の写真等、お気に入りの洋服や小物などが持ち込まれて、それぞれ個性的な居室になっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ADLや認知度の変化に応じて居室の変更を行っている。トイレや部屋の入口に名前や飾りを付けることで、迷って不安になったり、他者に迷惑を掛けないように、本人と一緒に工夫している。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない